

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ファミリーケア なかの

(ユニット名) 二階

記入者(管理者)

氏名 管理者 渡部 千代美、計画作成担当者 藤川 勝

評価完了日 平成 19 年 10 月 3 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着という意味を理解し、運営推進会議、地域役員との話、地域行事への参加など出来ることから一つづつ取り組んではいるが、理念までは掲げていない。当初からの運営理念を拡大解釈しサービス提供を行っている。		現在の理念に加え、新たな理念をスタッフ全員で考え理念を作りたいと思う。
			(外部評価) 事業所では、「利用者の夢を叶える」支援を目指し理念が作られている。「利用者一人ひとりの考え方を大切に」「その人を大切に」できるよう努めておられた。		事業所では、地域と事業所が気軽に行き来できるような関係作りを目指しておられる。さらに、地域密着型サービスを提供する事業所としての理念についても話し合っていけることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 運営理念はスタッフ全員が、理解しており、日々努力している。		
			(外部評価) 玄関に理念を掲示し、職員で共有されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族には話の都度、様々な話をしてホームの考え方、理念をはなし理解を得ていると思う。		地域への働きかけは、始まったばかりで、今後スタッフ、入居者が地域参加できる機会を増やし、関りを深く出来る様努めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶は近所の方にもきちんとできている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の、川掃除に、スタッフと入居者が参加したり、出来る事から少しずつ参加している。 (外部評価) 利用者と職員で事業所の前の川そうじをされたり、秋祭りには獅子舞やみこしが来て、地域の人達の休憩所にもなっている。		さらに、事業所では、今後、幼稚園や小学校の子供達と交流するような機会作りや地域の運動会等にも参加したいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等において、地域の方にはホームでの介護知識等を役立ててほしいと話しているが、ホームの方から、積極的に具体的な機会を設けるに至っていない。		公民館等を利用して、地域の方と調節接することの出来る機会を作る努力をしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全員で取り組むことにより、日々のケアを見つめなおし、一人一人の職員の気づきを全員で共有している。また前回の外部評価の改善を指摘された事に対しても積極的に取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で自己評価を作成された。ケアの方向性の確認や利用者への対応についての振り返り、又、職員で「虐待」の意味について話し合うような機会にもされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議毎に2ヶ月間の入居者の様子などを報告 し意見などもいただいている。		
			(外部評価)		
			事業所の行事や利用者の現状報告をされている。		さらに、今後は事業所便り等を活用し、ご家族にも会議 に出席していただけるよう働きかけていく事を計画 されていた。又、出席しやすいような工夫を重ねてい かれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市町村の担当者との行き来はないが、地域包括支援セ ンターでの研修などで、一緒に話す機会はある。		
			(外部評価)		
			成年後見制度についての相談に乗っていただいている。 又、市の担当者より事業所便りを通じて地域の方 の理解を得てはどうか、という提案もいただき検討を されていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			現在ホーム入居者にも、近いうちに成年後見制度を利用 したほうが良いと思われる方もおり、スタッフ、入 居者にも折をみて話しをしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			単に暴力だけでなく、言葉、威圧、制限、薬など様々 なことが虐待になることを理解し、防止に努めてい る。		ホーム内での勉強会や外部の研修をもっと利用しス タッフが参加出来るよう環境を整えていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、重要事項をしっかりと説明している。また退去時においても、十分理解を頂きトラブルもなく納得していただいている。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者、職員には遠慮なく意見、不満、苦情は言ってもらっているが、内部で解決し外部者への意思表示までには至っていない。		外部者への協力が必要になった場合は、その都度相談していくようにしたい。現在も相談はしても依頼するには至っていない。
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問ごとに、入居者の状態は説明しており、金銭管理においては、出納帳などコピーし渡している。職員の移動はあまりなく報告することはない。		
15	8	(外部評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームに来られるたびに、話をし意見を聞くことが出来る。また玄関に意見箱を設置している。		(外部評価) 現在、ご家族はご本人の暮らし等について口頭で希望や要望を伝えられることが多い。 さらに、今後、事業所ではクリスマス会を開催し、ご家族同士が交流するような機会も作っていくことを計画されていた。さらにご家族が意見を出しやすいような工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々スタッフの意見を聞き、相談し結果を出している。また運営者の権限にあたる提案は、管理者が話をして解決している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 通院介助も含め家族対応が難しい場合は、スタッフが対応している。スタッフの理解も十分あり勤務調整もスムーズに行えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職率も低く、また社内での移動もほとんどない。また移動等の場合でも、現場の意見を十分理解し配慮をしてくれている。		
			(外部評価) 現在、離職等はなく、馴染みの職員が対応されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修については、内容、人選は管理者に任かされており本人の希望を重視できる。		
			(外部評価) 家族介護教室へ参加され、リハビリ体操を採り入れられたり、ターミナルケアを実践される際には、訪問看護師を招き、利用者の対応について学ばれた。		現在は、職員が外部・内部研修に参加される機会は少な目である。職員個々のさらなるスキルアップから事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			定期的に他グループホームの研修会に参加する機会を設けている。また同業者等の交流は現場の業務に差し支えない範囲で自主的に行うことができる。		
			(外部評価)		
			地域の福祉施設の連絡会へ参加され、同業者と交流をされている。話し合いをされる中で同じような悩みを持っておられることを知り、今後も意見交換を行っていきたいと考えておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			有給休暇の積極的な取得や、スタッフの人員状況を常に注意している。また福利厚生面でも社員旅行の提案など行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			給与、資格取得に対しての昇給などスタッフごとに細かく対応している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の話だけでなく、家族からも本人の状況を聴き、本人がホームで安心して生活ができるまで何度も繰り返している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居者とも面接を行い、その後家族と管理者、計画作成担当者を交え家族の話を聴き、またホーム側としての質問もし相互が納得、理解できあえる時間を入所前にとっている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ホームで出来る事、出来ない事を説明している。特に医療面ではホームで対応出来ない事がほとんどであるため本人の状態を十分理解し入所の相談を受けている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 前もって得た本人の情報はあがるが、それにとらわれず日々の様子を観察し、サービス内容を一つづつ練り上げている。 (外部評価) 入居間もない方は、利用者同士でお話をするような機会を作られたり、お世話をよくしてくださる利用者にも協力をお願いしながら、場の雰囲気に馴染んでいただけよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員もホームを生活の場所であると自覚し、ともに生活をしているという意識を持っている。お互い刺激し合っている。 (外部評価) 職員は、利用者に料理や味付けについて相談をされたり教えていただいている。手芸を教わったり、食事の支度の際には、誰の食器か教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会のある家族には、そのときに本人の様子や希望を話し、本人にとって一番いい方法を家族と話し合っ て見つけている。		遠方でなかなか来所出来ない家族には 便り などを出して本人の様子や希望などを出来るだけ伝えるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) お祭りなどの行事には家族にも参加していただき、本人と会話する機会や時間を作るようにしている		外出行事や買い物など、日常的なことにも出来るだけ家族も交えて本人との時間を大切にしてもらうよう支援していきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ほとんど家族や親戚のみで、なじみの人との交流はない。なじみの場所も職員全員は把握していない。		入居者一人一人のなじみの場所を一緒に思い出し、時間を作りそこへ行ってみる機会を作りたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ひとつの作業を皆でしたり、レクリエーションを通して利用者同士の会話の場を作るようにしている。		もっと一人一人の個性を生かしながら協力して行える生活の場を作るようにしたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 病院や他の施設へ退去して移った方を訪問したりしている。その家族からの相談にも必要であれば乗っている。		これからも家族からの相談があれば、いつでもスタッフ全員が受けることが出来る体制を作る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ケアプランの見直しの際、本人とよく話し合い、思いや希望を生かしてプラン作りを行っている		プランの見直しするとき以外でも、日々の生活の中で不満や希望を書きとめていくようにしたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の食べ物の好みや習慣等を把握しておられる。		利用者個々についてのアセスメントのさらなる充実から、ご本人の求めておられることを探る等、介護計画に反映していかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			フェイスシートを把握しており本人にも昔の話を聞いて生活歴の把握に努めている。		本人だけでなく家族からも生活習慣、生活歴を聞き相談するよう努めたい
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一日の申し送りをする際に一人一人の状態を詳しく送るようにしている。また送られるスタッフは必ずメモを取っている。必要であればノートに記入し全員が把握できるようにしている。		現在行っている事は継続していく。またミーティング等でもスタッフ全員が話し合い、把握していくよう努力する
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ケアプランの見直しの際は、本人からの希望をスタッフと話し合い、家族からの希望も取り入れてプランの建て直しを行っている		担当の入居者のプランだけでなく。他の入居者についてもどんどん意見を出しよいプラン作りが出来るよう努力する
			(外部評価)		
			日々の中からご本人の希望等を把握し、ご家族にも意見を伺い、職員で話し合い、計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			日々の変化を把握し、対応方法を検討している。その内容により、家族、関係者と話し合いをもち本人にも話しをし、結果を職員全員に申し送り徹底している。		介護計画書にまで完全に反映出来てなく、そのつどの書き換えを行っていく様つとめたい。
			(外部評価)		
			定期的見直しと状態の変化時には随時見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			生活記録は、ケアプランに上がっているケアの実践した内容を記入している。またいつもと変わった言動、気づいた点なども記入している。また申し送りノートにたちまち実践必要な事項を記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			デイサービスの行事に参加することもある。ヘルパーステーションもあり家族が対応できないケースは、事業所内で対応できる事を説明している。		
			(外部評価)		
			訪問マッサージを受けてられる方がられる。地域の美容室を利用される際には送迎を行ってられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議には民生委員の方も参加していただき、いつでも相談できる状態である。また消防署の方とも消火訓練の指導をしていただいたりしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域包括支援センターのケアマネジャーにいつでも相談できる。他のサービスを利用したい意向は今のところないが、あればいつでも支援できる。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターが行っている研修に参加したり、成年後見制度の今後の利用についても相談している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	複数の病院にかかっている方が多いが、定期的に往診していただける医師の診断も受け、日々の状態を相談でき安心していただいている。 (外部評価) それぞれのかかりつけ医に受診される際には職員が同行されたり、医師との連絡ノートを作成して、事業所での利用者の健康状態と生活の様子を伝え、やり取りをされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 状況に応じて、病院の紹介などを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ユニット毎に看護師があり、医療面での相談がスムーズに行えるようになっている。また当社の居宅ケアマネージャーも以前ホームで勤務しており、入居者の精神面での相談も気軽に出来る。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、同行し病院関係者に本人の情報を出来る限り提供している。また入院中も見舞いに行ったりし入院中の様子や、退院の時期の把握にも努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 日常的に医療処置が必要な場合を除き、ホームで生活をする事が出来る。このことは本人、家族、職員も理解している。 (外部評価) 医療が必要となるまでは、事業所の生活が可能であることをご家族に伝えておられる。		さらに、重度化した時のことや終末期のあり方については、ご本人、ご家族も不安な面もあることを踏まえて、希望や思いを聞き取るような機会を作ってみられてはどうだろうか。全員で方針を共有できるような取り組みが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人の状態や、薬による変化など常に主治医と連携をもち、日々の確に対応している。今後重度化が進むと思われるが、本人、家族、主治医との連携を今後も密にしていきたい。日常的に医療処置が必要な場合は、入院していただくことは、本人、家族とも理解している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前に家族、ケア関係者と話し合いを十分もち退居後も相談があれば対応する用意がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人一人の書類、記録はファイルしている。職員が持ち出すことはない。また言葉掛けに対してはその方に応じた話し方で対応している。		
			(外部評価)		
			利用者の自立に向けた支援が行えるよう、職員で統一した声かけができるよう取り組まれている。時に、職員の利用者へ対する声かけについて「尊厳」という点から気になる場面が見受けられた。		さらに、この機会を利用者一人ひとりへの対応等について「尊重」という点から職員で振り返るような機会とされてほしい。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の意思で決定できるような声掛けを行っている。		全介助の方にも、声掛けを行い、意思の疎通をはかっている。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			9名の入居者の集団生活である事を意識し公平さを意識した上で支援している。		
			(外部評価)		
			現在は、利用者ご自身がご本人の意思で希望通り生活をされている。職員は無理強いすることなく、居室や共用空間で自由に過ごしていただけるよう支援してもらえる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれが できるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) 美容室への送迎もホームで行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	(自己評価) 料理の下ごしらいなどをしてもらっている。盛り付 け、配膳、下膳も出来る人には行ってもらっている。 (外部評価) 事業所の畑で採れた野菜を使用されたり、利用者が調 理に関わることで食事を楽しむことができるよう支援 しておられる。又、食事のメニューには利用者の希望 を採り入れておられる。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 自分で食べたいもの、飲みたいものは購入し飲食して いる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) ほとんどの方が自立している。また夜間などポータブ ルトイレを失禁対策のひとつとして利用している。ま た便意がはっきりしない方には、本人の訴え、状況を 判断しトイレ誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	一日おきに入浴することが定着している。自立の方は午前中に入浴し介助の必要な方は昼からの入浴を行っている。本人の希望を確認しシャワー浴、浴槽使用を選択してもらっている。	
			(外部評価)		
			一番風呂を好まれる方や湯加減等も好みがあり、希望を把握し支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	ソファで日中傾眠している方には、居室で休んでもらうよう声掛けをしている。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	年間行事表を作成しドライブ、食事会を行っている。日常的に散歩や、居室の掃除など個人の能力に応じ自分の出来ることは、行っている。	
			(外部評価)		
			ビーズ手芸をされる方が、作品を他の利用者にプレゼントされたり、利用者が牛乳パックでイスを作られ、事業所で活用しておられた。畑仕事や拭き掃除、毎日のゴミ出しをしてくださる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	希望に応じ、本人に現金を渡している。日々購入したものの支払いをしている。また月に2回程度買い物に出かけ本人が支払いをしている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望があれば戸外に出かけたり、みんなで外食も行っているが、スタッフの人数の都合や利用者の状態もあり100%希望がかなえられない。		買い物の日などの予定日を決めて、スタッフの人数を増やし戸外に出れるよう予定を組むようにしている。
			(外部評価)		
			事業所の周りの散歩コースを楽しまれたり、ドライブや買い物、外食にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族とともに出かける機会は、まだ実施できていない。		家族を招待するよう務めていきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時に電話をかけたり、手紙を頼まれたときはポストに出したりしている。		家族と疎遠な方には相談などにはのって対応している。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問者への挨拶は全員で取り組んでいる。家族には最近の様子を伝え、明るい雰囲気が作れるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間に玄関の鍵はかけているが、日中はかけていない。日中利用者同士で畑に出かけたりしている。 (外部評価) 玄関は鍵をかけず、網戸にされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室で過ごす方には、時々訪室し様子を把握している。夜間は、入居者の状況に合わせて巡視を行い静かに見守りを行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に応じて、居室に鍵を持っている方もいる。必要に応じてホームの物を使ってもらうことが多い。		利用者の状況を、常に把握し、危険と思われる状態になればすぐに対応できるよう準備しておきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを作り、事故防止に取り組んではいる。		いつ何が起きても、すぐ対応できるように、日ごろから訓練ができるよう、機会を作るようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時マニュアルは作成しており、職員がすぐ見ること事が出来るようにしているが定期的な訓練はしていない。		応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っていく様スケジュールを立てるようにする。バイタルチェックは職員全員が行うことが出来る。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 平成19年8月に火災時の避難訓練をホーム独自で、消防署の方と行った。地域の役員の方にも、お願いに伺っているが、直接ホームへの協力は、難しいとの返事しか得られていない。 (外部評価) 消防署の指導を受けて、火災を想定した避難訓練を実施された。		継続的に地域の方と関わり、理解を得られるように努力する。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 特に転倒については、ご本人の行動と、ホームでの対応を話し、理解を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化がある時など、バイタルチェック等を行い、主治医に連絡を取り対応している。入居者がいるような病気を持っている為職員が常に目配りしている。		病院受診が必要な時は、ホームで対応をすること多い。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬確認は、毎回職員が行っている。利用者の名前を呼び一人一人に手渡ししている。薬の知識は処方箋やインターネットで検索し理解できている。医師にも確認し状況に合わせて、服薬量を加減することもある。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防に対しては、主治医の指示により、薬の調整を職員が行っている。運動等の声掛けも毎日行っている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声掛けは、毎食後行っている。自分で出来ない利用者に対しては介助で行っている。		自力で出来ない方には、ガーゼで口腔ケアを行っている。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 糖尿病のある方には、食事量の調整を行っている。水分摂取量も必要な方には行っている。嚥下困難な方には刻み、ミキサーなど食べやすいようにしている。		透析を受けている方に対しては、週3回ホームでの様子を記入したノートのやり取りをしている。
			(外部評価) 夜間、水筒を枕もとに置かれ、排泄後に声をかけ摂取していただくような方もおられる。ご本人からの希望等も聞き取り、主食をおかゆにされることもある。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗い、うがい、手袋の使用、消毒等を行っている。ホーム入り口にはマスク、消毒液を設置している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>キッチン、毎日クレンザーで磨き、まな板などはハイター消毒をしている。また食器は毎回乾燥機にかけている。食材は毎日業者に発注をし新鮮なものを調理している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りには、季節に応じ花を植えたり、手作りの飾りなどを置いている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夜間のトイレ戸の開閉音が大きい為、スポンジをはさみ極力大きな音がしないよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の窓から山々が眺められ、季節の移り変わりを楽しむことができる。利用者が作業をしやすいように台所付近には、低めのテーブルが設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畳のコーナーを設置し、洗濯物をたたんだり出来るようにしている。また入居者の状態にあわせテーブルの席を決めており、気の合うもの同士が話している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自分に必要なものは、自宅から持ち込んでいただいている。好きなテレビ番組が見れるよう、ほとんどの方が居室にテレビを設置している。		
			(外部評価)		
			居室には、趣味のものやご自分のお若いころの写真、これまで使っておられたタンスや水屋、ご自分で作られた手芸の作品等も飾られていた。メダカを飼って、お世話している方もおられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓の開閉を行っている。。ホールに入居者が出られているときは、居室の窓を開けてもらうよう声掛けもしている。エアコンも温度、利用時間をこまめに確認し利用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			車椅子の方が、スムーズに移動できる空間作りと、テーブルの席も決めている。また手すりも設置し、夜間トイレに行かれるとき、ふらつきのある方は利用されている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			字が読めない、時計がわからない方には、誤薬を防止するためにも自分の名前が読み書きできるよう服薬ごとに名前の確認をしている。時間に対しても配慮をした声掛けを行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			敷地には畑があり、草引きや水やりを一緒に行うことが出来る。またベランダには自分で洗濯が干せるよう配慮している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	申し送りや、介護計画書などで利用者の情報を全員が把握しており、その内容に沿ってサービスを提供している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	入居者とスタッフが楽しく雑談できるような雰囲気作りに努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で意思決定が出来る方が多く、いろいろな事の相談も受けている。その中で理解と納得をしていただき自分らしい生活をしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人で過ごすことが多い方もおり、入居者の個性や、その日の状態によっても変化がある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行事計画に基づいて季節感を味わえるような戸外への外出に心がけている。場所によっては一緒に同行出来ない方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎週一度医師の往診を受けている。また主治医が外部の方も定期的に病院受診にしている。夜間の対応も可能なので、安心していただいている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	安心して暮らしていると思う。ただし要望をすべてかなえるのは難しく多少の我慢もしていると思われる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	責任者をはじめスタッフは家族がここに相談や悩み事があった時はそのつど対応はできている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	特定の人には、面会者があるが、すべての入居者には該当しない。

